

だいはんにはきょう でんしゅうじ
大般若経〔傳宗寺〕

●所在地／下三谷近江 傳宗寺 ●所有者／傳宗寺

応永年間(1394～1427)に作られた木版刷りの大般若経600巻(内23巻は欠巻となっている)が保管されている。表紙は黄褐色、紙質は和紙である。

大般若経は、古くは書写していたが鎌倉時代から木版術の発達により木版経典が出来るようになった。

当寺のものは、崇永版といわれ、近江(滋賀県)の国司が佐々木八幡社に奉納したものが、備後(広島県東部)の鞆浦の安国寺に移り、さらに傳宗寺に納められたと伝えられている。古くから供養の時などに使われ、今でもその一部は祈祷の際に使用されている。

